



TITLE:

金紙ノ開キト物價騰貴トノ關係

AUTHOR(S):

河上, 肇

CITATION:

河上, 肇. 金紙ノ開キト物價騰貴トノ關係. 經濟論叢 1916, 3(5): 764-768

ISSUE DATE:

1916-11-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127108>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號五第 卷三第

行發日一月一十年五正大

論說

節用論

田島 錦治

最小活資ノ免稅ヲ論ズ(一)

神戸 正雄

でぐあひひゆるむノ經濟學說(六)

福田 德三

『ころに』の意義ニ就キテ

山本美越乃

課稅ト獨占價格(二、完)

高田 保馬

代表紙幣ト獨立紙幣(一)

作田 莊一

戰後ノ人口増加政策(三、完)

米田 庄太郎

米券倉庫ヲ論ス(二)

河田 嗣郎

雜錄

公營遺物ニ關スル美濃部、織田、松本三博士ノ
所論ヲ讀ミテ東京市電車舊乘車券問題ニ及ブ(二)

福田 德三

金紙ノ開キト物價騰貴トノ關係

河上 肇

米國ニ於ケル地方財政審査所ノ發達

神戸 正雄

富山縣ノ翁媼調査

財部 靜治

經濟漫錄(一)

瀧本 誠一

金紙ノ開キト物價騰貴 トノ關係

河 上 肇

歐洲戰爭ノ結果不換紙幣論ハ再ビ時事問題トシテ新タニ人ノ注意ヲ惹クコトニ爲ツタ。此時ニ當リ戸田博士ガ之ニ關シ新タナル問題ヲ提供サレタコトハ、吾等ノ感謝スル所デアル。而シテ『其問題トハ即チ下落セル不換紙幣ノ下ニ於テ物價平準ハ二割騰貴セルニ金紙ノ差ハ二割五分又ハ三割ニ達スルト云フガ如ク、一般貨物ヨリ見タル紙幣ノ價ト金ヨリ見タル紙幣ノ價トガ一致シナイ場合ニ付テノ研究デアル』⁽¹⁾然ルニ余ハ元來此問題ソノモノニ就イテ疑問ヲ有スルモノデアル。詳ク云ハバ、博士ハ、不換紙幣下落ノ場合ニ於ケル金紙ノ開キト物價騰貴ノ度合トノ關係ニ就キ一定ノ事實ヲ認メ、此ノ如キ事實ノ

起リ來ル原因ニ就イテ種々ノ説明ヲ試ミラレテ居ルノデアルガ、余ノ先ヅ疑向トスルハ、果シテ此ノ如キ事實アリヤ否ヤト云フコトデアル。

博士曰ク『不換紙幣ノ下落セル場合ニハ金塊騰貴ノ度ト物價水準ノ高マレル度トガ一致スルコトヲ常態トスル。……然ルニ時トシテハ物價騰貴ノ度ト金紙ノ差トガ一致シナイ場合ガ起ル。……此ノ兩者不一致ノ場合ノ中ニハ、偶々金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ小トナルコトモナイデハナイガ、此ノ如キ場合ニハ……久シカラズシテ兩者ノ一致ヲ生ズル。……然ルニ金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナリ、即チ一般貨物ヨリモ金塊ガ特ニ多ク騰貴スル場合ハ、從來屢々起リ且ツ往々持續的性質ヲ有シテ貿易上ニ特種ノ影響ヲ及ボシタ⁽¹⁾』之ニ依リテ見レバ博士ハ、不換紙幣下落ノ場合ニ、(第一)金ノ騰貴率ガ一般物價ノ騰貴率ト一致スルヲ以テ常態トナシ、其ノ一致セザルコトアルハ例外ニ屬ストナシ、(第二)更ニ其例外中ニ在ツテハ、金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナルコトヲ史上ノ原

則トナシ、金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ小トナルコトヲ其例外トサレテ居ルヤウデアル。然ルニ余ノ見ル所ハ正ニ之ト反對デアツテ、即チ余ハ(第一)金塊ノ騰貴率ハ一般物價ノ騰貴率ト一致セザルヲ以テ常態トナシ、其ノ偶々一致スルコトアルガ如キハ寧ロ例外ニ屬スベキモノナリト爲シ、(第二)更ニ二者一致セザル場合ニ於イテハ、金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナルコトハ例外ニテ、金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ小トナルコトガ寧ロ原則デアラウト考フル者デアル。

蓋シ此點ニ就キ博士ト正ニ反對ノ意見ヲ有シツツアルモノハ、必シモ余一人ニ非ズ。例ヘバ佐野博士ノ貨幣論⁽²⁾ヲ見ルニ、氏ハ次ノ如ク述ベテ居ラレル。

『不換紙幣濫發ノ初期ニ於テハ其影響ノ物價ノ平準ニ及ブト貴金屬ノ價格ニ及ブヨリモ一層遲鈍ナルコト上述セシガ如シ、然レドモ斯ル情況ハ永ク繼續スベキニアラズ、紙幣ノ供給愈過多ナルコト明白ナルニ至ル時ハ、物價ノ平準ハ終ニ大ニ昂騰セザルヲ得ズシテ、其騰貴ノ程度ハ金紙ノ開キヨリモ一層大ナルニ至ルヲ例トセリ、即チ紙幣濫發ノ初期ニ於ケル

- 1) 經濟論叢第二卷二一三頁(不換紙幣ノ價格ニ就テ)
- 2) 同上二一四頁
- 3) 明治四十二年、三版、四六七、四六八頁

ト全ク反對ノ情勢ヲ呈シ、今ヤ紙幣ノ購買力ハ貨物ニ對スル方正貨ニ對スルヨリモ却テ小ナルニ至ルベシ、是ハ從來不換紙幣過多ノ弊ニ陷リ、諸國ノ實感ニシテ史上歴然タル事實ナリ。」

又きんれーノ貨幣論ニハ、其第十六章、不換紙幣論第九節ノ中ニ次ノ如ク述ベテアル。

It has long been a matter of remark,..... that the premium on gold does not exactly measure the amount of depreciation of the paper, or the inflation of prices. The purchasing power of inconvertible paper money is a little less, when measured in goods than it is when measured in gold. There are several possible reasons for this difference.⁴⁾

即チ氏ハ、金塊ノ騰貴率ガ一般物價ノ騰貴率ト一致セザルコトハ古クヨリ注意サレテ居タ事柄デアルト爲シ、且其ノ一致セザルハ金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ小トナルガ爲デアルト述ベテ居ルノデアツテ、戸田博士ノ所説トハ恰モ正反對ニ爲ツテ居ル。

猶遡リテ一例ヲ舉グレバ、うゐーかーノ貨幣論中、第二編不換紙幣論第十七章ノ中ニモ、同様ノコトガ相應ニ長ク論ジテアル。今ハ只其一

節ヲ抄録センニ、氏ハ次ノ如ク述ベテ居ル。⁵⁾

All the statistical tables, showing the prices of commodities, which are accessible, seem to prove that the power of the paper to purchase commodities in general was..... much further diminished than its power to purchase gold.

即チ之ヲ得能フ限リノ凡テノ統計表ニ徴スルニ、紙幣ノ購買力ハ金ニ對スルヨリモ一般貨物ニ對シテ甚シク減少シテ居ルト云フノデアアル。言ヒ換フレバ、金紙ノ差ハ物價騰貴ノ度ヨリ何時モ小サクナツテ居ルト云フノデアツテ、即チ戸田博士ノ所説トハ矢張り正反對ニ爲ツテ居ルノデアアル。

此ノ如ク古クハうゐーかーモ、近クハきんれーモ、共ニ貨幣論ニ於イテ名アル是等ノ學者ガ、同ジヤウニ戸田博士ノ認定トハ恰モ正反對ノ事實ヲ認メ、且斯カル事實ノ發生原因ニ就イテ議論ヲシテ居ルノデアアル。

尤モ余ガ茲ニ引用セル所ノモノハ、余ノ狹キ見聞ノ範圍内ニ於イテ偶々思ヒ出セルモノノミヲ列舉シタルニ止ルガ故ニ、余ハ敢テ之ヲ以テ

4) Kinley, Money, 1904, pp. 344, 345.

5) Walker, Money 1877. (Reprint, 1891, pp. 387, 388.)

從來ノ學者ノ定説ナリト主張スル者デハ無イ。
只戸田博士ハ、少クトモ以上二三ノ學者ノ認メ
來レル事實ヲ否認シ、之ト反對ノ現象ヲ以テ『從
來屢々起リ且ツ往々持續の性質ヲ有シタ』モノ
トサレ、斯カル事實ノ前提ノ下ニ、斯カル現象
ノ因ツテ生ズベキ理由ヲ説明サレテ居ルケレド
モ、其ノ前提トサレタル事實ニ就イテハ別ニ史
的證據ヲ示シテ居ラレヌ爲ニ、余等ニ於イテ聊
カ感フ所アル次第デアル。

然ラバ實際ノ歴史の事實ハドウナツテ居ルカ
ト云フニ、之一就イテモ余ハ充分ナル材料ヲ有
スル者デハ無イ。併シ余ノ知レル限りニ於イテ
ハ、此問題ノ研究ニ關シ少クトモみちえるノ裏
紙紙幣本位ノ下ニ於ケル金ト物價ト勞賃⁶⁾ハ、
看過スベカラザル有益ノ參考資料ト爲ルモノカ
ト思フ。此書ハ氏ガ其統計の事實ノ調査研究ノ
爲メ少カラザル出資ヲかゝねぎ⁷⁾財團ヨリ得テ
完成セシモノニ拘リ、四ツ折版六百餘頁ヨリ成
レル大冊ニテ、紙幣下落ノ問題ニ就キ頗ル有力
正確ナル種々ノ資料ヲ提供セルモノデアル。う

雜錄 金紙ノ開キト物價騰貴トノ關係

な一カーハ勿論、さんれーノ前掲書モ、未タ此
書ノ出版サレザル以前ニ書カレタモノデアル
ガ、今此書 吾等ノ茲ニ問題トセル事實ニ關シ
果シテ如何ナル材料ヲ提供シツツアルカ。試ニ
其一班ヲ錄センニ、氏ガ金ノ價格ト貨物ノ卸賣
價格トノ關係ニ就キ要約セシ所ハ、次ノ如クデ
アル。⁶⁾

『戰時中(茲ニ戰時中ト云フハ勿論南北戰爭ヲ指スモノデ
アル、ソウシテ此戰亂ノ結果トシテ紐育ノ諸銀行ガ正金ノ
支拂ヲ停止スルニ至リシハ一八六一年十二月三十日デアッ
テ、其時ヨリシテ金ハ直ニ打歩ヲ有スルコトニ爲ツタ、裏紙
紙幣ノ始メテ發行サレシハ翌年一八六二年二月二十五日デ、
其ヨリ以後數ニ回ノ發行ヲ見タ) 金ノ價格ハ一般貨
物ヨリモ迅速ニ騰貴シ又ハ下落シタ。……………
金ノ價格ガ騰貴セシ時ニハ多數ノ貨物ヒ之ニ
伴フテ騰貴シタケレドモ、併シ其騰貴ハヨリ
緩慢デアツタ。……………父金ノ價格ガ下落シ始
メシ時ニハ、多數ノ貨物ハ或ハ其現狀ヲ維持
シ、或ハ金ニ伴フテ下落セシモ、其下落ハヨ
リ緩慢デアツタ。……………此ノ如ク貨物ノ價格
ノ變動ノヨリ緩慢ナルコトハ、戰後ニ於イテ

第三卷 (第五號 七六七) 一五一

6) Mitchell, Gold, Prices, and Wages under the Greenback Standard, 1908.
(University of California Publications in Economics, vol. I.)
7) Ibid, pp. 40, 41.

一層著シク現ハレタ。一八六五年ノ春ニ於ケル一般物價ノ下落ハ随分急激デアツタケレドモ、金ノ下落ノ急激ナリシニハ及バナカツタ。猶一層奇妙ノ事實ト謂フベキハ、貨物ノ價格平準ガ、引續キ十ケ年ノ間（一八六五年四月ヨリ一八七五年四月ニ至ル）、金ノ價格平準ヨリモ寧ロ高カツタコトデアル。……………乍併一八七五年ヨリ一八七八年末ニ至ル間ニ於イテハ、貨物ノ價格ハ全體ニ於イテ金ヨリモ速カニ下落シタ。（其結果一八七七年四月以後及ビ一八七八年ニハ、金ノ價格平準ノ方が一般物價ノ平準ヨリモ高クナツテ居ル）之ニ依リテ見レバ、一八六二年ヨリ一八七八年ニ至ル間、金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナレル場合モナキニハ非ザレドモ、併シ其ト反對ニ金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリモ小トナレル場合ノ方が寧ロ大部分ヲ占メテ居テ、引續キ十ケ年ノ久シキニモ及ンデ居ルノデアル。サレバ少クトモ此ノ米國ノ一例ハ、戸田博士ガ『偶々金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ小トナルコトモナイデハナイガ、此ノ如キ場合ニハ……………久シカラ

ズシテ兩者ノ一致ヲ生ズル。……………然ルニ金紙ノ差ガ物價騰貴ノ度ヨリ大トナリ、即チ一般貨物ヨリモ金塊ガ特ニ多ク騰貴スル場合ハ從來屢起リ、且ツ往々持續的性質ヲ有シ』云々ト述ベテ居ラレルノト、恰モ正反對ノ事實ヲ示シテ居ルノデアル。今單ニ此一例ヲ以テ博士ノ斷案ニ疑ヲ抱クハ固ヨリ輕卒ノ譏ヲ免レザレドモ、彼レ是レ併セ考フレバ、余等ニ於イテ多少ノ惑ナキヲ得タ。乃チ試ニ思フガマ、ヲ述ベテ、茲ニ驢尾ニ附シテ研究ヲ進ムルノ第一段ト爲ス次第デアル。